

## ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、平素より協会事業の推進にご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

2024年度がスタートし、看護の現場は人材不足で、大変お忙しい日々をお過ごしのことと思います。

少子超高齢社会が進展する中、人々がその人らしい生活が送れるように支援する看護職の役割はますます重要となっています。出生前から人生の最終段階に至るまで、あらゆる世代の人々にとって最も身近な医療専門職として、その力を発揮していくことが求められています。

昨年は、「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が制定以来約30年ぶりに改定され、増大・多様化する看護ニーズに対応していくために看護師等の確保を推進していくとともに、看護師等の個人の資質向上を図っていくという方向性が示されました。当協会も基本指針に基づき、復職支援などにより看護職の確保施策を展開するとともに、資質向上に向けた研修事業に取り組んでまいります。

特に、今年度は2023年度に作成した「公益社団法人神奈川県看護協会ビジョン2033～10年後のめざす姿～」の2年目となり、ロードマップに沿って会員のニーズが最も高い継続教育事業を強化してまいります。具体的には、当協会の理念や教育・研修の指針を核として、昨年日本看護協会が策定した「看護職の生涯学習ガイドライン」に基づき、生涯学習の支援に取り組めます。

会員の減少、会館修繕費の増加、近年の諸物価高騰等が大きく影響し、当協会の財政状況は悪化傾向にあります。2024年度も引き続き経営改善に取り組むとともに、より多くの看護職に入会していただけるよう、皆様からの要望に耳を傾け、これまで以上に看護職に寄り添い支える、開かれた看護協会を目指してまいります。

会員の皆様におかれましては、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

公益社団法人神奈川県看護協会 長野広敬